

2017年 プログラム近況報告

モンゴル バヤン・ウルギー地域開発プログラム

ご支援により バヤン・ウルギー地域の 子どもたちの生活が改善しています

バヤン・ウルギー地域の子どもたちをご支援くださり、ありがとうございます。この一年の最も大きな成果は、子どもたちが通う学校の設備を改善できたことです。ご支援により、トイレや手洗い場を備え、暖房設備も整った新しい校舎や寄宿舎を建設することができました。

一方、私たちの最大の課題の一つが、昨年の夏に洪水被害を受けた子どもたちと家族に、暖かい住居や衣類、燃料の石炭を提供することです。被災した家族と子どもたちに支援を届けられるのも、皆さまのおかげです。心より感謝します。皆さまの継続的なご支援により、地域の人々は以前より互いに協力しあうようになってきています。



バヤン・ウルギー地域開発プログラム
マネージャー

ボラトベック・ダウレットカン

A handwritten signature in black ink, which appears to be "Boratbek Daurkhan".



バヤン・ウルギー地域での 主な成果



チャイルドの絵
(ツェヴェルスレン、16歳)

健康状態が改善しました

子どもたちの栄養状態が改善しました。4,200人以上の子どもたちが健康診断を受け、特に栄養状態が悪かった約460人の子どもたちが栄養改善のための特別な支援を受けました。

地域住民が啓発教育を受け、子どもたちが以前より健康に過ごしています。子どもたちがより良いケアを受けて健康に過ごせるよう、10,500人以上の地域住民が健康管理に関する研修を受けました。



チャイルドの絵 (サムダン、16歳)

教育を受けました

学校の学習環境が良くなりました。学校に新たな学習活動、備品や設備が導入され、2,700人以上の児童の学習環境が改善されました。

就学前教育を受ける幼児が増えています。約70人が幼稚園の夏期プログラムに参加し、小学校入学に備えました。



チャイルドの絵
(カンガラースラン、9歳)

地域の人々の中で大切に保護されて成長しました

子どもたちが暮らす地域が以前より安全な場所になってきています。150人以上の地域住民と160人の警察官が、子どもの保護についての研修を受けました。また、約440人の地域住民が良い子育てや子どもとの関わり方を学び、子どもたちが安心して過ごせる環境作りに役立っています。

価値ある存在として尊重され愛情を受けました

家族が子どもたちの必要を満たせるようになりました。350人以上の若者と310人以上の大人が技術訓練に参加しました。この結果、6世帯が共同で養蜂場を立ち上げ、子どもたちを養うことができるようになりました。

子どもたちが他者への思いやりを学んでいます。約100人の子どもたちが、他者を尊重し人を助ける方法を学ぶ講習会に参加しました。



遊牧民の子どもたちの乗り物は
馬だけではありません

「私たちの学校にできた新しいトイレは、とてもきれいです。以前のトイレは汚れていて、使いにくかったです。手を洗う方法を学んだので、弟と妹にも教えました。」

アイマラールちゃん(9歳、オレンジ色の服を着た女の子)



「新しいリハビリテーションセンターができて感謝しています。ここで私は、障がいを持つ15人の子どもたちの療育を行っています。子どもたちは日々の活動を通して成長しています。」

メルエートさん
(理学療法士、写真中央)



「以前、子どもたちは幼稚園に来て楽しそうではありませんでした。でも今は全員が遊ぶのに十分な遊具があるので、子どもたちは幼稚園が大好きで、皆で一緒に楽しく遊んでいます。」

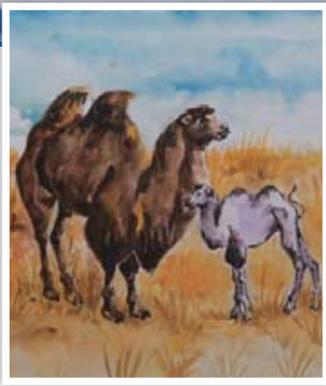
ナズグールさん(教師)



「私は伝統的な手工芸品や、民族衣装、室内装飾品の制作方法を学んでいます。作品を販売して得た収入で、子どもたちに食べ物や学用品を買うことができるので助かっています。」

アイマンさん(仕立て屋)





チャイルドの絵
(ウーガンジャーガル、14歳)

新たな ビジネスへの挑戦

「以前は、家族を食べさせるのも、子どもたちを学校に通わせるのも困難でした。もっと多くの収入を得る必要があったので、自分で起業したいと考え、養蜂を学ぶことにしました」と語るのは、ジャレルさんです。

「この計画について近所の人と話し合ったところ、6世帯が賛同してくれ、ワールド・ビジョンの支援を受けて共同経営の養蜂場を始めました。この地域に養蜂場ができたのは30年ぶりでした。

村には蜂の飼育に適した木があり、蜂蜜は地域でよく売れました。わずか2カ月で、52kgの蜂蜜が採れ、利益も出始めました。今ではこの収入で6家族の子ども17人、大人15人が生計を立てています。今では子どもたちに必要なものを購入できるようになり、毎日十分な食事もとれています。」



ワールド・ビジョンからの支援を受け、グループ経営の養蜂場を立ち上げたジャレルさん(写真左、膝をついている男性)。養蜂で6家族を支える収入を得ています

お問い合わせ先
特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン
電話：03-5334-5351 (平日9:30~17:00)
e-mail：dservice@worldvision.or.jp
ホームページ：www.worldvision.jp



プログラム番号

MOG-184842

背景に使われているチャイルドの絵「ゴビ砂漠のラクダ」
(ビルゲーティ、14歳)

モンゴル バヤン・ウルギー地域開発プログラム (MOG-184842)
2016年度 (2015年10月1日-2016年9月30日)

会計報告

プログラム支援額	(単位:円)
チャイルド・スポンサーシップ当期支援額	52,565,334
前期からの繰越額	467,996
プログラム支援額合計	53,033,330

プログラム支出額	
保健衛生プロジェクト	12,500,390 ●
経済開発プロジェクト	11,402,145 ●
教育プロジェクト	9,961,668 ●
スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト	19,208,795 ●
プログラム支出額合計	53,072,998
次期繰越額	-39,668

活動内容

-  **保健衛生プロジェクト**
- ・子どもの栄養改善
 - ・水衛生についての啓発教育
 - ・幼稚園と学校の衛生設備の整備
 - ・保健に関する住民への啓発・研修

-  **経済開発プロジェクト**
- ・貯蓄グループの設立・活動支援
 - ・起業・収入向上支援
 - ・寒冷地における防災対策活動

-  **教育プロジェクト**
- ・読解力向上のための啓発活動
 - ・幼稚園と学校の学習環境整備
 - ・障がい児支援
 - ・就学前教育の支援

- スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト**
- ・手紙や成長報告を通じたチャイルドとの交流
 - ・チャイルドの定期的なモニタリング
 - ・「子どもを中心とした開発」についての啓発活動